

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 29 年 4 月 20 日 (木) 15:30~16:30 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶(新館長挨拶)

●4月1日に就任した新館長の吉田憲司よりご挨拶申し上げます。

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

[詳しくはこちら](#)

3. 特別展関連ワークショップ「ビーズの素材に注目！—ペーパービーズをつくろう」

開館 40 周年記念特別展「ビーズ—つなぐ・かざる・みせる」関連ワークショップを開催します。

ガラス、石、貝……。ビーズは、さまざまな素材でつくられています。そのなかでも今回は、紙を何層にも巻いてつくるペーパービーズをとりあげます。

特別展の展示解説を聞いた後、実際にペーパービーズをつくります。

日 程：4月28日(金)、5月2日(火)、5月27日(土)

時 間：各日とも 10:30~12:00 (10:20 集合)、14:00~15:30 (13:50 集合)

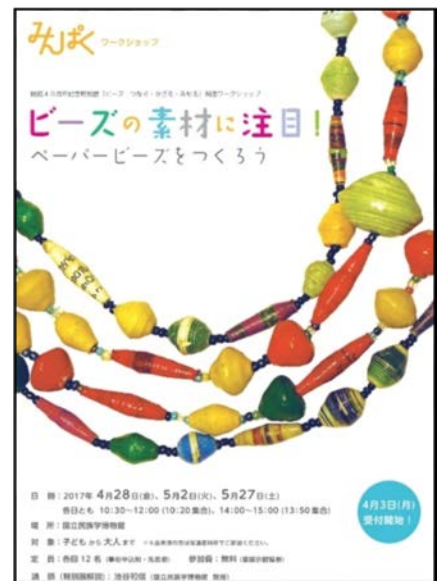
場 所：国立民族学博物館 特別展示館など

対 象：子どもから大人まで

※6歳未満の方は保護者同伴でご参加ください

定 員：各回 12 名 (要事前申込/先着順)

参加費：無料 (要展示観覧券)



— 池谷 和信 (人類文明誌研究部 教授) —

4. データベースの公開について

[詳しくはこちら](#)

本館では、所蔵する様々な人類の文化資源をもとに国際共同研究を実施し、情報生成型で多方向的なマルチメディア・データベースを構築する「フォーラム型情報ミュージアムプロジェクト」を実施しています。

本プロジェクトの一環として、平成 29 年 3 月 31 日に以下の 3 つのデータベースを試験公開しましたので、ご紹介します。

・ジョージ・ブラウン・コレクション

<http://ifm.minpaku.ac.jp/georgebrown/>

宣教師であり神学博士でもあるジョージ・ブラウンが、19世紀後半から20世紀初頭にかけての南太平洋諸島において、メソジスト教会の伝道のかたわらに収集した民族誌コレクションです。

・台湾および周辺島嶼の物質文化 <http://ifm.minpaku.ac.jp/taiwan/>

プロジェクトで調査、研究を進めてきた台湾関連資料について、日本語、中国語、英語の3言語で閲覧、検索等が可能なデータベースを公開します。

・徳之島の唄と踊り ※IDおよびパスワードは当分の間関係者にのみ配布しています。

徳之島に伝えられる民俗芸能の映像記録を蓄積し、伝承や研究に役立てることを目的としています。

— 丸川 雄三 (人類基礎理論研究部 准教授) —



「狩猟採集民からみた地球環境史—自然・隣人・文明との共生」

(池谷和信 編/東京大学出版会)

— 池谷 和信 (人類文明誌研究部 教授) —

「グローバル支援の人類学—変貌する NGO・市民活動の現場から」

(信田敏宏、白川千尋、宇田川妙子 編/昭和堂)

— 宇田川 妙子 (超域フィールド科学研究部 准教授) —

6. 研究こぼれ話

中国における「石毛直道研究中心 (センター)」の誕生

2016年8月12~13日、中国食文化研究会と北京師範大学の連携により、「第二回国際食文化発展大会」が北京の前門ホリディ・イン・エクスプレスホテルで開催され、日本や中国の10以上の省、市、自治区の大学、研究機関、企業と政府部門から100名余りの専門家が参加しました。

開催中に、著名な食文化研究者で、本館元館長でもある石毛直道にちなんで命名された「石毛直道研究センター」の設立が発表され、あわせてその除幕式も行われました。本センターはどのようにできたのか?その経緯と中国の食文化研究の最新情報を報告します。



石毛直道研究センターの除幕式

— 韓 敏 (超域フィールド科学研究部 教授) —

※その他の配布資料

外来研究員受入一覧(資料5)、外国人研究員新規受入一覧(資料6)、刊行物報告書(資料7)